

人それぞれの「違い」の違い

市立守山中学校一年 古田 萌々子

あなたは、人それぞれの「違い」についてどう思いますか。考えたことはありますか。当たり前だけど、私には私が思ったことしか、超能力者でもないから、正確には分からない。でも私にも、自分が何を思っていたのか、分からなくなる時がある。

全く全員同じ、なんてことはあり得ない。でも「違い」を人間は気にする。名前も年も、たくさん違うところはあるのに、特別に気にする事がある。でも、結局はみんな「人間」で、みんな生きている。このこと達の「違い」って何だろう、って私は思った。

私は左利きだ。左利きということを知ると、よく言われることがある。「絵とか描くの得意？」絵を描くのは嫌いではない。だけど、得意かと聞かれば、そうではない。「左利きの人ってどんな感じ？」これも良く聞かれる。答えは、わからない。私は、右利きの世界が分からないから。だから私は、一度「左利き」について調べたことがある。ある時脳画像診断医で、左利きの人を書いた本を読んだ。その本には、左利きの人脳の発達の仕方が違い、右利きの人とは得意な事、感じ方などが違う事が多く、そもそも見て、感じている世界が全く違う、と書いてあった。これは驚きだった。何故かショックを受けた。でも、この時私は今感じる世界以外感じることはないんだ、と吹っ切れた気もした。

左手で何かをやっている、もたついていたら、代わってくれようとしてくれる人が居た。お前は何もやるな、とか言われたこともあった。だ

けど、よく使うのがみんなとは逆なのだからしょうがない、心の中でそう思っていた。だけど、ある時気が付いた事がある。それは、左利きの人と出会った時の事だ。左利きの人に出会ったことはあったが、よくしゃべることは無かった。やはり共通点があると話しやすい、そう思った時に気が付いた。私も同じだと良い、と思っていたことに。今まで、左利きだからって、気にしなくていいよって思ってきたのに、自分も同じことを思っていたことに、情けなくなった。

だから、違いを気にしないことにした。考えたけど、自分は何をしていたのかなって思った。最初と同じようなことを考えている気がした。そう思った時、私が大切にしている言葉を思い出した。私が障害者の方とお話をした時に、聞いた言葉だ。それは、違いがあることをどう思いますか、と聞いた時のことだ。その方は、「違う事がなんやって思うかな。あなたは左利きでしょ、みんな違うんやけど、私らは違うことが大きいってだけやと思うよ。何が違うかは人それぞれやけど、みんな違うことは同じですよ。」と言っていた。私はこの言葉をずっと覚えている。遠回りだったけどこう思えて、考えて良かったと思った。私は、まだはつきりとは分からないけど、私らしく生きたい。